

山地災害危険地区とは？

「山地災害危険地区」とは、梅雨前線豪雨、台風期の豪雨、集中豪雨等で山腹崩壊や土石流等が発生するおそれのある森林で山腹面や溪流等を一定の要件を付して調査して整理したものです。

当該危険地については、山地災害防止の観点から都道府県(及び国)が治山事業を計画的に実施するとともに、市町村に対して、市町村地域防災計画への掲載と人命保護の観点から地域住民への周知を図るよう指導しており、関係機関の連携によって警戒避難体制の確立等災害の防止軽減に努めることとしています。

調査は、山腹傾斜角、地況・林況、地質特性、災害特性、荒廃現況及び保全対象の有無、東南海地震の影響等であり、これらを地形図等で数値化し、調査地の危険度を判定しています。

山地災害危険地区とは、次のような **3** つの分類で区分されています。

山腹崩壊危険地区

山腹崩壊により人家や公共施設に被害を与えるおそれがある地区

地すべり危険地区

地すべりが発生するおそれのある区域のうち、公共施設等に被害を与えるおそれのある地区

崩壊土砂流出危険地区

山腹崩壊等により発生した土砂が土石流となって流出し、人家や公共施設等に被害を与えるおそれのある地区

山地災害危険地区の特徴とは？

大阪府では、山地災害から住民のみなさんの生命、財産を守るために次のような対策を進めています。

- 山崩れ、土石流、地すべりなどの山地災害により、住宅や公共施設などが災害を受けるおそれがあるところには、治山ダムなどの設置や森林の整備を行い森林のもつ土砂崩壊防止などの公益的機能を高めています。
- 山崩れなどの災害が発生した場合には、再び災害が発生しないように速やかに復旧しています。

こんなところが **危険** です！

山崩れが起こりやすい斜面

- 山の斜面に亀裂やわき水がある
- 岩盤がもろく崩れやすい地質である
- 過去に山崩れがあった場所
- 山崩れがあった場所に隣り合っている
- 急斜面で軟弱な地盤がある
- 水の集まりやすい凹形状等の斜面となっている
- とまどき落石がある



地すべりが起こりやすい山の斜面



- 過去に地すべりがあったところで、今も少しずつ動いている
- わき水や地下水が豊富である
- 断層があるところやもろく崩れやすい岩盤がある

土石流が起こりやすい溪流

- 溪流の勾配が急である
- 溪流に大きな石がごろごろしている
- たくさんの土石が堆積している
- 上流が山崩れなどで荒れている
- 過去に土石流があった



山崩れ



土石流により堆積した土石と流木



土石流の通過した跡

山地災害危険地区の災害の例

災害発生の兆候は？

みなさんが住む地域の山地災害危険地区がどこにあるのを知っておくことは災害に備えるためにも大切です。身近に危険な箇所があるかどうか、あらかじめ防災マップなどで確認しておきましょう。

※山地災害危険地区については市町村または大阪府にお問い合わせください。

わき水が止まった？



井戸水が濁った？



水位が下がった？



わき水が増えた？



8つの危険信号に注意しましょう

山地災害が起こる場合、山の斜面や川の流れをよく観察し見ると、多くの場合、危険信号と思われる変化が現れます。次の8つの信号に注意してください。

川が濁った？



小石がぱらぱらと落ちてきた？



地鳴りがする？



亀裂が走った？



山地災害の危険信号をキャッチしたら！

すぐに
避難しましょう！



山崩れのおそれがある地区では、テレビなどの気象情報に注意しましょう。

すぐに
通報しましょう！



災害が起こったら、すぐに110番か119番へ通報しましょう。



危険と思われる場所には近づかないようにしましょう

普段から情報を共有しておきましょう！

家族や地域ぐるみで山崩れのおそれがある場所や避難場所について十分に話し合うとともに、実際に自分の目で危険な箇所、避難経路などを確認しておきましょう。

